

**** 性に関する学習のようす ****

1年生

「二次性徴 心と体の変化」

助産師さんより思春期を迎える心と体の変化や個人差について教えていただき、保健体育でも月経や射精のしくみについて学びました。

からだと心の変化は個人差があるから、自分が皆より遅くても気にしなくていいと思った。また、他の人が遅かったり、早かったりしてもバカにしてはいけない。

異性のからだも理解し、楽しく過ごせるようにしたいと思った。「いのち」は一人ひとりあって、とても大切なものだと改めて感じ、簡単に悪口を言ったりしないようにしていきたい。

思春期は、心が不安になったり、人と比べてしまうかもしれないけど、だれかに相談したりしていきたいと思った。



これから体も心もどんどん大人に近づいて、みんなが経験することで、どうい変化が自分の体に起こるのかを助産師さんのお話を聞いて、安心できました。私自身も周りのみんなも大切にできる人になりたいと思った。

思春期の体の変化は、恥ずかしがるのではなく、お互いの性についてちゃんと知識を持っていくことが大切だと思った。



2年生

「セクシャルマイノリティ、好ましい交際について」

担任の先生と学級のみんなで意見を出し合い、性の多様性や交際、デートDV等について考えました。

人の思考や好み、性別はそれぞれで、それが自分と異なるからといって、その人に対して違和感をもったり、拒むのではなく、その人の「普通」を「普通」だと理解していくことが大切だと感じた。

恋のみちのりについて考え、人それぞれ考え方が違うということがわかった。性別関係なく人を好きになることがあるということもわかった。男の人が女の人を好きになるのはあたりまえではないことだし、悪口などを言うものではないと感じた。

自分の価値観で、人を決めつけることがどれだけ相手を傷つけ、苦しめてしまうかを改めて感じた。

人を見ただ目で「決めない」、これをずっと心の中において過ごす。相手のことを思うことが大切だとわかった。

LGBTQについて学び、自分の周りにもそのような人がいるかもしれないことをわかっておくことが大切だと思った。

執着は愛情ではなく、誰の利益にもならないと思った。

カミングアウトは、本当に勇気が必要だし、大切なことだから、もし、カミングアウトしてくれた人がいたら、自分のことのように考えたい。

交際は、人それぞれ違うから、自分勝手にならないようにしたいと思った。

3年生「いのちの学習」

コロナ対策により精華町の赤ちゃんとお母さんお父さんとの交流は本年度も中止となりました。助産師さんからは出産の様子や性感染症等について学び、妊娠体験や学年の先生たちのインタビューでは子育てやいのちについてのメッセージ、保健体育では性感染症について実験を通して学びました。



これまでこんなに深く「生きる」ことを考えたことがなかったので、たくさん心に残るものがあり、今、生きていられることはたくさんの方が支えてくれて今があるのだと改めて思った。まだたった15年しか生きていないにもかかわらず、たくさんの方があり、大変だったこと、楽しかったこともあるので、これからもいろいろなことを経験しながら生きていきたいと思った。

改めて自分や周りの人が生まれてきたのは、奇跡とわかり、親に腹が立ったりすることもあるけど、感謝の気持ちをいつまでも忘れずにいたいと思った。また、赤ちゃんを産む時には、親もつらいし、赤ちゃんもお母さんが楽になるよう頑張っていることも知り、先生たちからも子育ての話聞き、命を授かることは大変だけど、良いこともたくさんあり、感動した。

新しく生まれてくる命のために、色々な人が助けてくれることを知り、色々な苦労があっても守ってくれる優しさがすごいと思った。命に対する親の思いもわかり、ありがたさを感じた。僕もいのちを授かる時が来たら、今日のことを思い出して、大切にしていきたいと思った。

自分が生まれたときは、石尾先生の娘さんと同じで、保育器に入って成長してきた。その時、親がどう思っていたかわからないけど、色々な先生の話聞いて、心配しながら育ててくれたことがわかり、親には本当に感謝しかない。

将来、親になるかわからないけど、もし、親になり、命を授かったときには、一生懸命育てていきたいと思った。

自分は妊娠について軽く思っていたことに、今日の話聞いて気づいた。妊娠をすることの重さや相手を軽率にしてしまったりしたらいけないことがわかった。また、世の中には、子どもが欲しくても授けられない命もあると知り、自分もしっかり理解して生きていきたいと思った。これからは、「性」のことを尊重していきたいと思った。

正直、今まで生きてきた中で命について深く考えたことはなかった。今日の授業をきっかけによく考えてみて、親のありがたみを知った。自分が15年間何もなくて成長できたことがどれだけすごいことかということがわかった。ご飯を食べたり、寝たりあたりまえのことのように思うけど、その当たり前ができるようになったのは、親たちのおかげなので、本当に感謝している。先生方のインタビューから子どもが生まれた嬉しさを知ったので、自分の親もそんな風に思っているんだと思った。これから親に迷惑をかけることがあるかもしれないが、そういうことはなるべく減らして、親に感謝しながら生きていきたいと思う。

今回の授業で改めて自分や周りの人々の命の大切さについて知ることができた。くじけそうになった時には、助産師さんの「生きているだけで100点満点」という言葉を思い出して、前向きな気持ちで過ごしていきたいと思った。また、性感染症は他人事ではなく、誰にでも関係していることがわかったので、性的接触や輸血といった人の体に触れることがある時はしっかり気をつけていきたいと思った。

